

## 第2章 アンケート調査の結果

## 1 修了生の属性

### (1) 性別と年齢構成

回答のあった修了生337名の性別をみると、女性が62.3%、男性が35.9%となっており、女性が5、男性が3の割合となっている(図2-1)。

次に、年齢構成をみると、「25歳以上30歳未満」が50.7%と最も多く、次いで「30歳以上」が27.3%、そして「18歳以上25歳未満」が21.4%となっており、若年者層が7割強を占め、また、20歳代後半の者が5割を占めている(図2-2)。

### (2) 最終学歴

また、修了生の最終学歴をみると、「高校卒」が60.6%と最も多く、次いで「短大・高専卒」が25.2%、そして「大卒以上」が5.9%となっており、中等教育修了者が6割強、高等教育修了者が3割強を占めている(表2-1)。

性別にみると、男性では、高等教育修了者が2割強であるのに対して、女性では3割強を占め、男性に比べて女性の高等教育修了者がやや多い。

次に、年齢別にみると、18~25歳未満では、中等教育修了者が4分の3を、また、25~30歳未満では、高等教育修了者が3分の1を占めており、学校を卒業後就職し、数年後に会社を退職している者が多い。

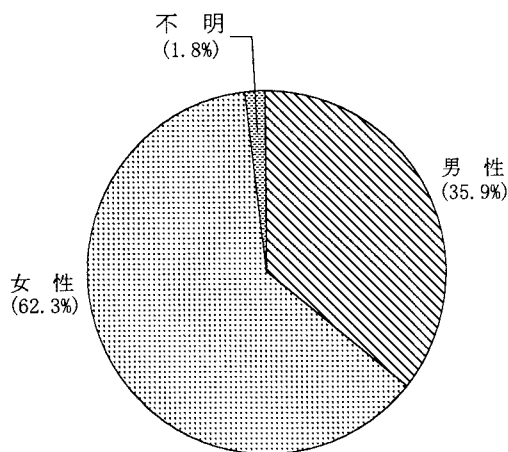


図2-1 男女構成

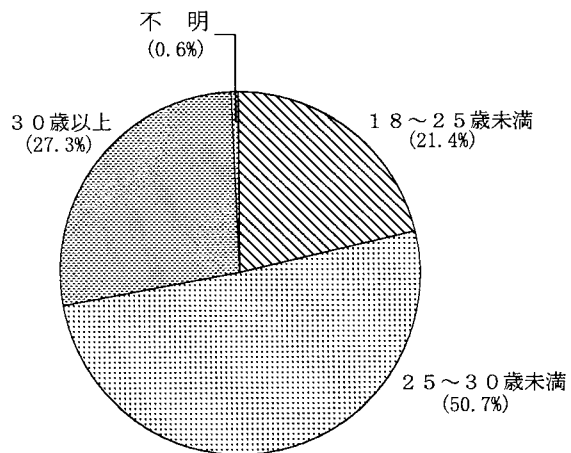


図2-2 年齢構成

表2-1 最終学歴

単位：％（ ）は実数

区分	合計	中学校卒	高校卒	短大・高専卒	大卒以上	不明
全体	(337) 100.0	3.3	60.6	25.2	5.9	5.0
性別	男性 (121) 100.0	6.6	64.5	14.9	9.9	4.1
	女性 (210) 100.0	1.4	59.5	31.0	3.8	4.3
	不明 ( 6) 100.0	-	16.7	33.3	-	50.0
年齢別	18～ 25歳未満 ( 72) 100.0	4.2	72.2	22.2	-	1.4
	25～ 30歳未満 (171) 100.0	4.1	56.7	26.3	7.1	5.8
	30歳以上 ( 92) 100.0	1.1	58.7	26.1	8.7	5.4
	不明 ( 2) 100.0	-	50.0	-	-	50.0

## (3) 入校前の転職の有無

入校前に会社を変わったことがあるか、転職の経験について尋ねてみると、経験が「ある」が55.5％と最も多く、次いで「ない」が44.5％となっており、訓練校へ入校する前に、6割弱の者が転職の経験を持っている（表2-2）。

性別にみると、男性では転職の経験者がほぼ5割であるのに対して、女性では転職の経験者が6割弱を占め、女性の方が男性に比べて転職の経験者がやや多い。

次に、年齢別にみると、18～25歳未満では、「ない」が62.5％、25～30歳未満では、「ある」が54.4％、30歳以上では、「ある」が70.7％となっており、年齢が高くなるほど転職の経験者が多くなっている。

さらに、学歴別にみると、中学校卒では「ある」が8割強を、高校卒と大卒以上ではそれぞれ6割弱を、短大・高専卒では「ない」が5割強を占めおり、中学校卒の転職経験者が多いのが目立つ。

## (4) 入校前の職業

入校前の仕事をみると、「事務的職業」が30.9％と最も多く、次いで「技能工・採掘・製造の職業」が18.1％、そして「販売の職業」が15.1％、「専門・技術的職業」が12.4％と続いており、製造・現場に携わっていなかった者が6割弱を占めている（表2-3）。

表2-2 入校前の転職の経験

単位：％（ ）は実数

区分		合計	ある	ない
全体		(337) 100.0	55.5	44.5
性別	男性	(121) 100.0	53.7	46.3
	女性	(210) 100.0	56.1	43.9
	不明	( 6) 100.0	66.7	33.3
年齢別	18～ 25歳未満	( 72) 100.0	37.5	62.5
	25～ 30歳未満	(171) 100.0	54.4	45.6
	30歳 以上	( 92) 100.0	70.7	29.3
	不明	( 2) 100.0	100.0	-
	学歴別	( 11) 中学校卒	100.0	81.8
	(204) 高校卒	100.0	56.9	43.1
	( 85) 短大・高専 卒	100.0	47.1	52.9
	( 20) 大卒以上	100.0	55.0	45.0
	( 17) 不明	100.0	64.7	35.3

性別で見ると、男性では、「技能工・採掘・製造の職業」が4割弱、「専門・技術的職業」が1割強を占め、女性では、「事務的職業」が5割弱、「販売の職業」が2割弱を占めており、性別によって前職に偏りがみられる。

次に、年齢別にみると、25歳以上では、「事務的職業」が3割ないし4割強を、「専門技術的職業」が1割強を占めているのに対して、25歳未満では、「技能工・採掘・製造の職業」が2割強を占めており、年齢によって職種に偏りがみられる。

さらに、学歴別にみると、中学校卒では「技能工・採掘・製造の職業」（4割弱）が、高校卒では「事務的職業」（3割強）と「技能工・採掘・製造の職業」（2割強）が、短大・高専卒では「事務的職業」（4割弱）が、大卒以上では「専門・技術的職業」（4割弱）が、それぞれ高率を占めており、学歴によって職種に偏りがみられる。

表2-3 入校前の職業

単位：％（ ）は実数

区分	合計	専門・ 技術的 職業	管理的 職業	事務的 職業	販売の 職業	サービ スの職 業	保安の 職業	農林漁 業の職 業	運輸通 信の職 業	技能工 ・採掘・ 製造の 職業	その他	不 明	
全 体	(337) 100.0	12.2	0.6	30.9	15.1	8.9	0.6	-	2.1	18.1	4.7	6.8	
性 別	男 性	(121) 100.0	12.4	0.8	5.8	11.6	8.3	1.7	-	5.0	37.2	5.8	11.4
	女 性	(210) 100.0	11.4	0.5	45.7	17.6	9.5	-	-	0.5	6.2	4.3	4.3
	不 明	( 6) 100.0	33.3	-	16.7	-	-	-	-	50.0	-	-	-
年 齢 別	18～ 25歳未満	( 72) 100.0	2.8	-	11.1	12.5	11.1	2.8	-	1.4	22.2	12.5	23.6
	25～ 30歳未満	(171) 100.0	14.0	1.2	32.7	17.0	8.8	-	-	2.3	19.3	1.2	3.5
	30歳 以上	( 92) 100.0	15.2	-	43.5	14.1	7.6	-	-	2.2	13.1	4.3	-
	不 明	( 2) 100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-
	学 歴 別	中学校卒	( 11) 100.0	9.1	-	-	-	27.3	-	-	18.2	36.4	-
高校卒	(204) 100.0	9.3	0.5	30.9	14.7	8.8	1.0	-	2.0	20.6	5.9	6.3	
短大・ 高専卒	( 85) 100.0	15.3	1.2	35.3	17.6	8.2	-	-	1.2	9.5	3.5	8.2	
大卒以上	( 20) 100.0	35.0	-	15.0	20.0	10.0	-	-	-	15.0	-	5.0	
不 明	( 17) 100.0	5.9	-	47.1	11.8	-	-	-	-	23.4	5.9	5.9	

## 2 入校について

### (1) 入校の動機

入校の動機について見てみると、「専門の知識や技能・技術等が習得できるから」が69.4%、次いで「将来の職業生活にとって役立つから」が55.8%、そして「資格が取得できるから」が51.9%、「訓練内容に興味がある科があったから」が33.2%、「両親や知人のすすめがあったから」が17.3%と続いており、専門技術を習得することにより自分の将来の職業を築き上げていこうとする者が多いことが分かる(表2-4)。

年齢別にみると、30歳以上では、「訓練内容に興味がある科があったから」が4割強、「両親や知人のすすめがあったから」が1割強を占めているのに対して、18～25歳未満では、「希望する仕事に就けなかったから」が2割強を占めており、年齢によって入校動機にやや違いがみられる。

学歴別にみると、高校卒以上では、「資格が取得できるから」がおよそ5割を、「両親や知人のすすめがあったから」がおよそ2割を占めているのに対して、中学校卒ではそれぞれ4割弱、1割弱を占めており、中学校卒は、自立心が強く、資格取得よりもむしろ自分の専門分野の技能・技術をしっかり習得したい者が多く、一方、高校卒以上では、技能・技術の習得と併せて資格取得を目的にして入校している者が多い。

表2-4 入校の動機

単位：％（ ）は実数、複数回答

区分	合計	将来の職業生活に役立つ	専門知識や技能・技術等の習得	資格取得ができる	訓練内容に興味	施設・設備が充実	両親や知人のすすめ	希望の仕事に就けなかった	その他
全体	(337) 100.0	55.8	69.4	51.9	33.2	1.2	17.3	8.9	4.5
性別	男性 (290) 100.0	56.2	72.7	48.8	28.1	1.7	19.0	8.3	5.0
	女性 (511) 100.0	54.8	67.1	53.8	35.7	1.0	17.1	9.5	4.3
	不明 (17) 100.0	83.3	83.3	50.0	50.0	-	16.7	-	-
年齢別	18～25歳未満 (168) 100.0	44.4	69.4	50.0	29.2	1.4	19.4	15.3	4.2
	25～30歳未満 (420) 100.0	59.1	68.4	54.4	30.4	0.6	20.5	7.0	5.3
	30歳以上 (225) 100.0	58.7	70.7	48.9	41.3	2.2	12.0	7.6	3.3
	不明 (5) 100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-
学歴別	中学校卒 (26) 100.0	63.6	63.6	36.4	45.5	-	9.1	9.1	9.1
	高校卒 (497) 100.0	55.9	70.6	54.4	29.9	1.5	18.6	7.8	4.9
	短大・高卒 (210) 100.0	57.5	69.4	48.2	37.6	-	17.6	12.9	3.5
	大卒以上 (49) 100.0	60.0	70.0	45.0	35.0	-	20.0	10.0	5.0
	不明 (36) 100.0	35.3	58.9	58.8	41.2	-	11.8	-	-

(2) 前職と訓練科

修了生は、訓練校に入校するに当たり、前職の経験を活かして訓練科を選択しているのか、又は、前職の経験に拘らずに全く関係のない仕事に就こうとして入校してきているのかを、前職と訓練科との関連についてしてみると、「関連がなかった」が59.6%と最も多く、「少し関連があった」が26.4%、そして「関連があった」が11.3%となっており、前職に全く関連のない職業を希望して入校した者が6割を占めている(表2-5)。

年齢別にみると、18～25歳未満では、「関連があった」と「少し関連があった」を合わせると3割弱を、25～30歳未満では4割弱を、30歳以上では4割強をそれぞれ占めており、年齢が高くなるに従い、前職に関連のある訓練科を希望して、入校した者がやや多いようである。

また、学歴別にみると、中学校卒では、「関連がなかった」が8割強を占め、前職に関連のない職種への転職を希望して入校した者が多い。

なお、性別には、あまり大きな違いは見られない。

表2-5 前職と訓練科

単位：％( )は実数

区分	合計	関連があった	少し関連があった	関連がなかった	不明
全体	(337) 100.0	11.3	26.4	59.6	2.7
性別	男性 (121) 100.0	10.7	23.2	62.0	4.1
	女性 (210) 100.0	11.9	28.1	58.1	1.9
	不明 (6) 100.0	-	33.3	66.7	-
年齢別	18～ 25歳未満 (72) 100.0	8.3	16.7	65.3	9.7
	25～ 30歳未満 (171) 100.0	13.5	26.3	59.1	1.1
	30歳以上 (92) 100.0	9.8	34.8	55.4	-
	不明 (2) 100.0	-	-	100.0	-
学歴別	中学校卒 (11) 100.0	-	9.1	81.9	9.0
	高校卒 (204) 100.0	12.3	29.4	56.4	1.9
	短大・高専卒 (85) 100.0	9.4	25.9	61.2	3.5
	大卒以上 (20) 100.0	10.0	20.0	70.0	-
	不明 (17) 100.0	17.6	11.8	64.7	5.9

### 3 訓練への満足度

修了生は、訓練についてどの程度満足したのかを、訓練内容、設備・機器、指導員との交流、就職指導、習得技能の仕事への活用を通して見てみよう。

#### (1) 訓練全般について

訓練全般にわたっての満足度をみると、「やや満足している」が46.3%と最も多く、次いで「満足している」が39.8%、そして「やや不満である」が11.9%となっており、9割弱の修了生が今の訓練にほぼ満足している(表2-6)。

性別にみると、女性では、「満足している」と「やや満足している」がそれぞれ4割強を、一方、「やや不満である」が1割強を占めており、女性は、男性に比べて今の訓練に不満な者がやや多い。

次に、年齢別でみると、18～25歳未満では、今の訓練に何らかの満足を感じている者が9割弱を占めているのに対して、30歳以上では、何らかの不満を感じている者が2割弱を占め、年齢が高いほど、今の訓練にやや不満を感じる者が多いことが分かる。

さらに、学歴別にみると、高校卒以上では、何らかの満足を感じる者が8割ないし9割弱を占めているのに対して、中学校卒では、「やや不満である」が4割弱を占め目立っている。

表2-6 訓練への満足度

単位：% ( )は実数

区分	合計	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	不明
全体	(337) 100.0	39.8	46.3	11.9	1.2	0.8
性別	男性 (121) 100.0	38.8	51.2	8.3	1.7	-
	女性 (210) 100.0	41.0	43.3	13.3	1.0	1.4
	不明 (6) 100.0	16.7	50.0	33.3	-	-
年齢別	18～ 25歳未満 (72) 100.0	36.1	52.8	11.1	-	-
	25～ 30歳未満 (171) 100.0	44.4	43.3	10.5	1.8	-
	30歳以上 (92) 100.0	32.6	47.8	15.2	1.1	3.3
	不明 (2) 100.0	100.0	-	-	-	-
学歴別	中学校卒 (11) 100.0	36.4	27.3	36.3	-	-
	高校卒 (204) 100.0	40.7	48.0	8.3	2.0	1.0
	短大・高専 卒 (85) 100.0	40.0	45.9	14.1	-	-
	大卒以上 (20) 100.0	35.0	45.0	20.0	-	-
	不明 (17) 100.0	35.3	41.2	17.6	-	5.9



## (2) 満足した内容

では、どのような点について、満足したのかを7つの項目に分けて尋ねてみた。

男性では、指導員数については、「満足している」が56.2%、「やや満足している」が29.8%となっている(図2-3)。訓練の施設・設備では、「やや満足している」が38.8%、「満足している」が38.0%となっている。現場で活用されているのと同じレベルの機器の保有やソフト等を揃える必要があると思われる。

次に、教材では「やや満足している」が47.1%、「満足している」が28.1%となっている。

訓練期間については、「満足している」が36.4%、「やや満足している」が28.9%となっている。その一方で「やや不満である」が24.0%とあり、限られた期間に数多くの学科や実習をこなすことになるので期間延長を望んでいるものと思われる。

さらに、基礎的な技能・技術の訓練については、「満足している」が41.3%、「やや満足している」が41.3%となっている。訓練校での基礎的な訓練については、ほぼ問題がないものと思われる。

続いて、専門的な技能・技術については、「やや満足している」が46.2%、「満足している」が24.8%となっている。その一方で、「やや不満である」が23.3%もあり、現場ですぐに役立つ高度な技能・技術を取り入れた訓練を望んでいると考えられる。

修了後の進路や就職指導については、「満足している」が32.2%、「やや満足している」が30.6%となっている。

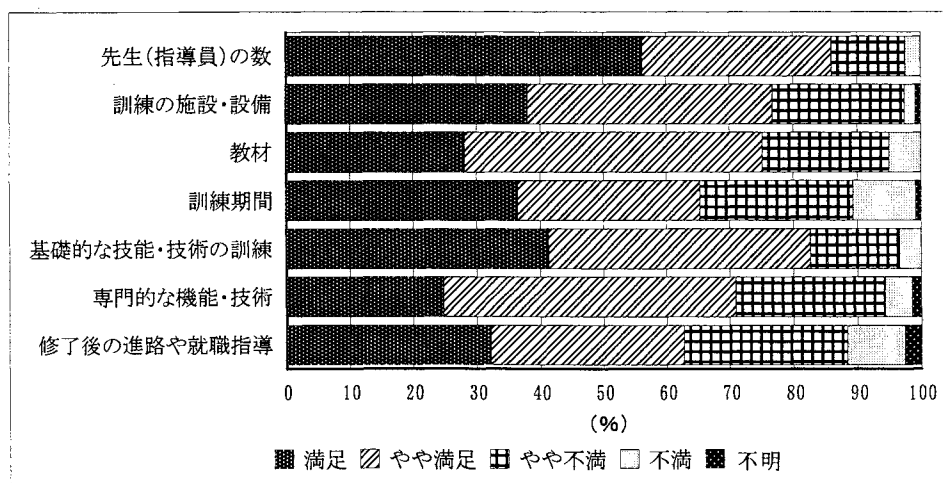


図2-3 訓練校にどの程度満足していますか(男性)

また、女性では、指導員数については、「満足している」が57.1%、「やや満足している」が32.9%となっている（図2-4）。特に、訓練期間については「満足している」が35.2%「やや不満である」が29.0%となっている。

さらに、修了後の進路や就職指導については、「やや満足している」が32.9%、「やや不満である」が37.6%となっている。就職について、支援の強化をして欲しいとの声が多いと思われる。

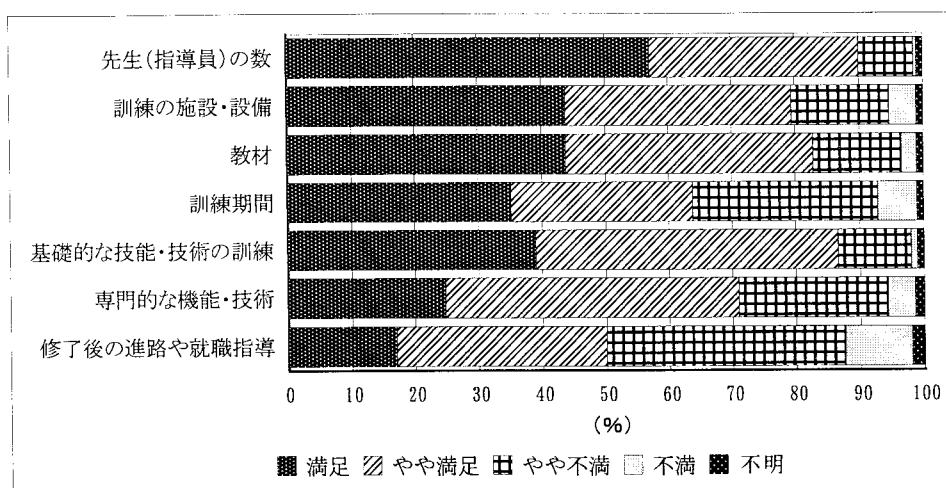


図2-4 訓練校にどの程度満足していますか(女性)

### (3) 指導員との交流

訓練生と指導員との交流の状況について尋ねてみると、「積極的に交流ができるとよい」が67.4%と最も多く、次いで「時々交流ができるとよい」が29.1%となっており、指導員との積極的な交流の場を望む者が7割弱もいる（表2-7）。

性別で見ると、男性では「積極的に交流ができるとよい」が7割強を、女性では6割強をそれぞれ占めており、男子訓練生が女子訓練生に比べて、指導員との積極的な交流の場を望む者が多い。

次に、年齢別にみると、25歳未満では「積極的に交流ができるとよい」が4分の3を占めているのに対して、25～30歳未満では7割弱、30歳以上では6割弱をそれぞれ占めており、年齢が増すに従い、指導員との交流に消極的な者が多いようである。

### (4) 就職指導

訓練修了前の就職指導について、どの程度役だったかをみると、男性では、企業情報の提供については「役立った」が44.6%、「役立たなかった」が37.2%、「やってなかった」が16.5%となっている。職業適性の相談については「役立った」が36.4%、「役立たなかった」と「やってなかった」がそれぞれ30.6%

となっている（図2-5）。

訓練中にいろいろな就職の情報を受けることによって、現場では何が問題となっているのか、就職する時に不足している知識や技能・技術があるとすれば、それはどのようなことなのか関心を抱くことは自然のことで、相談にのることや親身になって支援することが望まれているように思われる。求職活動の仕方については「役立った」が46.3%、「役立たなかった」が31.4%となっている。

会社訪問・面接の仕方については、「役立った」が36.4%、「やってなかった」が35.5%となっている。若い訓練生には、細やかな就職への助言や接遇等のやり方の指導も求められているものと思われる。先輩の体験談や意見交換については「やっていなかった」が53.7%、「役立った」が22.3%、「役立たなかった」が22.3%となっている。訓練校が組織的に、先輩や就職担当者を交えた交流会等を開催することも必要と思われる。

職場の人間関係については、「やってなかった」が44.6%、「役立った」が34.7%となっている。人間関係は誰もが避けては通れないことなので、若い訓練生には必要なことと思われる。

表2-7 指導員との交流について

単位：%（ ）は実数

区分	合計	積極的に 交流がで きるとよ い	時々交流 ができる とよい	交流する 必要がな い	不明
全体	(337) 100.0	67.4	29.1	2.7	0.8
性別	男性 (121) 100.0	73.6	24.0	1.7	0.7
	女性 (210) 100.0	63.3	32.4	3.3	1.0
	不明 ( 6) 100.0	83.3	16.7	-	-
年齢別	18～ ( 72) 25歳未満 100.0	75.0	25.0	-	-
	25～ (171) 30歳未満 100.0	68.4	26.9	4.1	0.6
	30歳以上 ( 92) 100.0	58.7	36.9	2.2	2.2
	不明 ( 2) 100.0	100.0	-	-	-

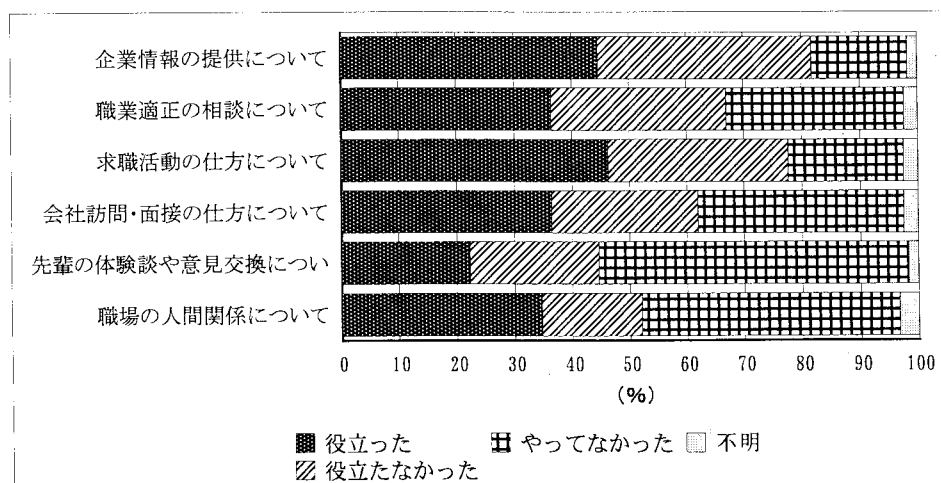


図2-5 訓練校の就職指導について役立ちましたか(男性)

女性では、企業情報の提供については「役に立たなかった」が37.2%、「役に立った」が37.1%となっている。職業適性の相談については「やってなかった」が38.6%、「役に立たなかった」が28.1%となっている(図2-6)。

会社訪問・面接の仕方、先輩の体験談や意見交換及び職場の人間関係については、「やってなかった」が44.3%、51.0%、50.0%となっている。就職についてももっと親身になって指導してくれることを期待しているものと思われる。

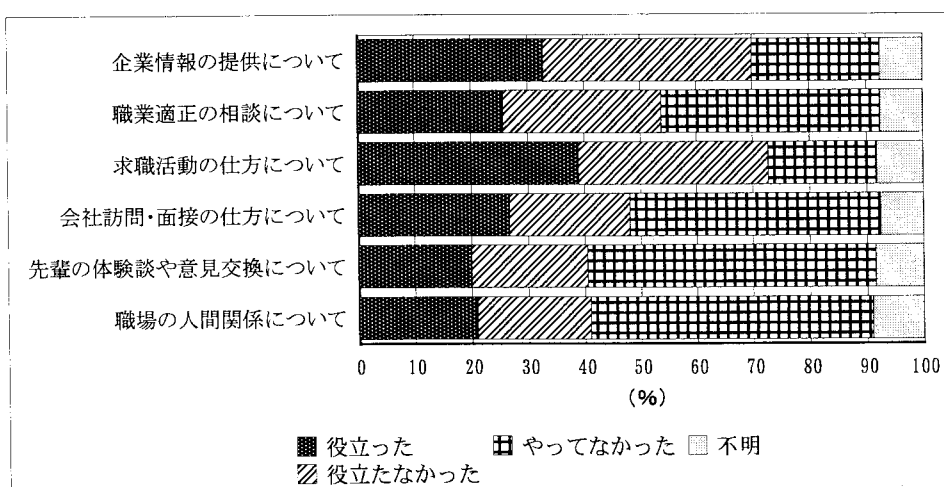


図2-6 訓練校の就職指導について役立ちましたか(女性)

#### (5) 仕事への反映度

訓練校で習得した技能・技術が、仕事でどのくらい役立っているかをみると、男性では、学科については「役立っている」と「やや役立っている」がそれぞれ40.5%となっている(図2-7)。訓練で習得したことを有効に活用していると思われる。

実技については、「やや役立っている」が45.5%、「役立っている」が40.5%となっている。資格については「やや役立っている」が33.9%、「役立って

いない」が32.2%となっている。

また、規律・責任感については「やや役立っている」が51.2%、「役立っている」が33.9%となっている。同様に、協調性については「やや役立っている」が54.5%、「役立っている」が36.4%となっている。訓練校を終えた後に、本人が訓練を通して得られた団体生活や同窓の年輩者の細やかなアドバイス等が活かされているものと思われる。

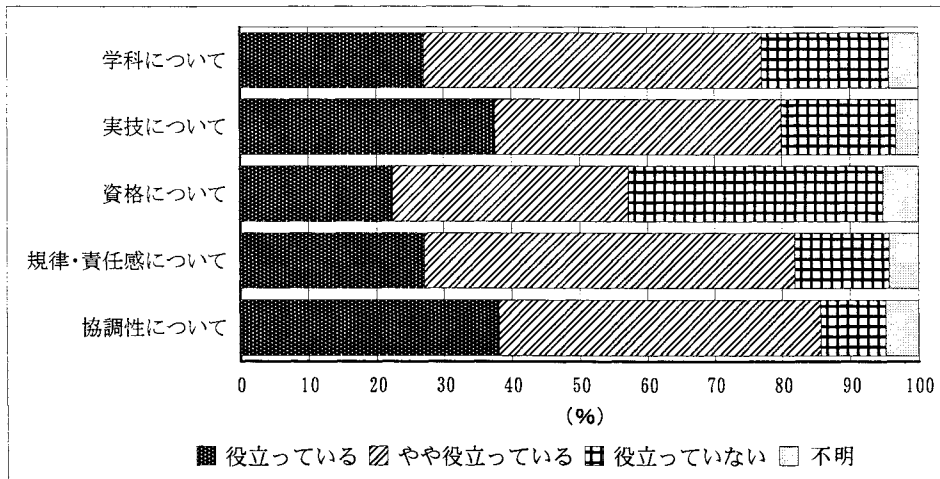


図2-7 訓練校で習得したことが仕事に役立っているか(男性)

女性では、学科は「やや役立っている」が50.0%、「役立っている」が27.1%となっている。実技については、「やや役立っている」が42.4%、「役立っている」が37.6%となっている(図2-8)。

資格については「役に立っていない」が37.6%、「やや役立っている」が34.8%となっている。必要と思われる資格が現場でどのくらいあるのか、そのニーズに基づいた系統だった資格取得が望まれているものと思われる。

規律・責任感については「やや役立っている」が54.8%、「役立っている」が27.1%となっている。現場での生活規範等は集団行動や仕事上のベクトルを揃える意味で重要なことであるので役立っているとの要望があるものと思われる。協調性については「やや役立っている」が47.6%、「役立っている」が38.1%となっている。

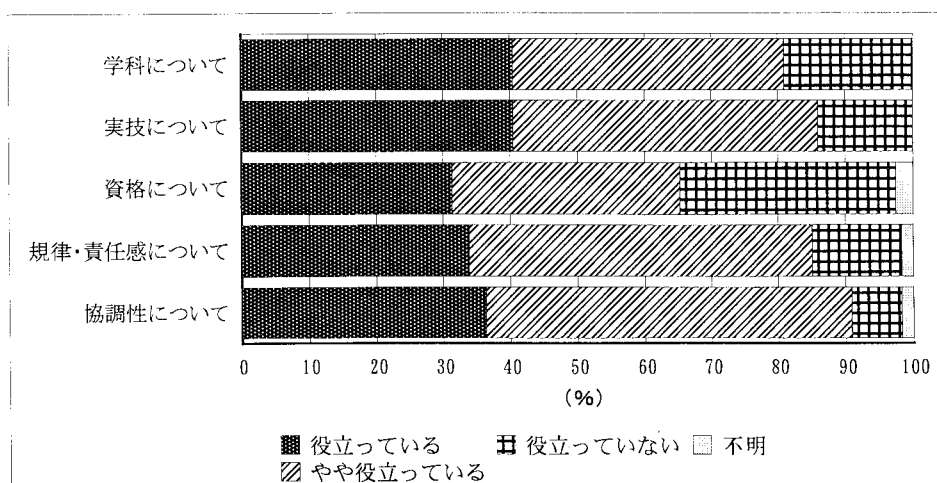


図2-8 訓練校で習得したことが仕事で役立っているか(女性)

#### (6) 強化して欲しい訓練内容

今までの仕事上の経験から、今後、訓練校で是非取り入れて欲しい、又は、強化して欲しい項目について尋ねてみると、「専門知識について」が43.0%と最も多く、次いで「資格取得について」が40.4%、そして「パソコン・ワープロの操作について」が31.5%、「実習内容・時間について」が31.2%、「会社・工場や展示会などの見学について」が19.6%と続いており、パソコン・ワープロの操作や資格取得のための科目を増やし、学科・実技内容の強化を望む者が多い(表2-8)。

性別にみると、男子では、「専門知識について」(5割強)、「実習内容・時間について」(4割弱)、「校外実習について」や「会社・工場や展示会などの見学について」(それぞれ3割弱)を挙げる者が多いのに対して、女性では、「資格取得について」(4割強)、「パソコン・ワープロの操作について」(4割弱)、「仕事に役立つ外国語等について」(2割強)を挙げる者が多く、性別によって、強化して欲しい訓練内容に違いがみられる。

次に、年齢別にみると、いずれの年代でも実技・学科の充実を望む者が多いが、25歳未満では、「校外実習について」(3割弱)や「接客サービスなどの接遇について」(2割弱)を、25歳以上では、「資格取得について」(4割強)や「仕事に役立つ外国語等について」(およそ2割)を望む者がやや多く、年齢によって、強化して欲しい訓練内容にやや違いがみられる。

さらに、学歴別にみると、いずれの学歴でも「専門知識について」が高率となっているが、このほかに中学校卒では「実習内容・時間について」(8割強)が、高校卒では「資格取得について」や「パソコン・ワープロの操作について」(それぞれ4割強)が、大卒以上では「資格取得について」や「パソコン・ワープロの操作について」(それぞれおよそ5割)に加え、「ISO企画・PL法などの管理システムについて」(2割)を望む者が多く、高学歴になるに従い、望む訓練内容が増すと共に専

門性の高い内容を望んでいる。

表2-8 強化して欲しい訓練内容

単位：％（ ）は実数、複数回答

区分	合計	一般 教養	専門 知識	実習 内容・ 時間	校外 実習	資格 取得	P C W P の操 作	管理 シス テム	外国 語等	接遇	見学	その 他	不明
全 体	(337) 100.0	16.0	43.0	31.2	16.9	40.4	31.5	8.0	17.5	10.7	19.6	4.5	4.7
性 別	男 性 (290) 100.0	11.6	54.5	38.8	26.4	37.2	22.3	7.4	8.3	5.8	28.1	5.8	5.0
	女 性 ( ) 100.0	18.6	36.2	27.1	11.4	41.4	36.2	8.6	23.3	13.3	14.3	3.8	4.8
	不 明 ( 17) 100.0	16.7	50.0	16.7	16.7	66.7	50.0	-	-	16.7	33.3	-	-
年 齢 別	18～ 25歳未満 (168) 100.0	20.8	41.7	31.9	26.4	31.1	31.9	6.9	9.7	15.3	22.2	4.2	4.2
	25～ 30歳未満 (420) 100.0	15.8	41.5	28.7	14.6	44.4	32.2	8.2	17.5	9.4	21.1	3.5	4.1
	30歳以上 (225) 100.0	13.0	46.7	35.9	14.1	40.2	29.3	8.7	23.9	9.8	14.1	6.5	5.4
	不 明 ( 5) 100.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0
	学 歴 別	( 26) 100.0	-	81.8	81.8	9.1	36.4	9.1	-	-	-	9.1	-
高 校 卒 (497) 100.0	19.1	41.7	29.9	16.2	39.2	26.5	9.8	17.2	12.7	23.0	4.9	4.4	
短 大・高 専 卒 (210) 100.0	14.1	42.4	25.9	17.6	42.4	43.5	3.5	18.8	10.6	15.3	1.2	5.9	
大 卒 以 上 ( 49) 100.0	5.0	45.0	25.0	25.0	45.0	50.0	20.0	35.0	-	15.0	15.0	-	
不 明 ( 36) 100.0	11.8	35.3	47.1	17.6	41.2	23.5	-	5.9	5.9	11.8	5.9	11.8	

#### 4 現在の職業について

修了生の現在の職業について、就労状況と会社の状況について尋ねてみた。

##### (1) 就労状況

###### イ 就労の有無

現在、仕事に就いているかを尋ねてみると、「働いている」が77.7%、「働いていない」が22.3%となっており、8割弱の修了生が仕事に就いている。

性別にみると、男性では9割強の者が、女性では、7割の者がそれぞれ働いており、女性の就労率が男性に比べて低い（表2-9）。

次に、年齢別にみると、18～25歳未満では、「働いている」が8割強を、25～30歳未満では8割弱を、30歳以上では7割強をそれぞれ占めており、修了生の年齢が高いほど働いている者が少ない。

表2-9 就労状況

単位：％（ ）は実数

区分		合計	働いている	働いていない	不明
全体		(337) 100.0	77.7	22.3	-
性別	男性	(121) 100.0	90.1	9.9	-
	女性	(210) 100.0	70.0	30.0	-
	不明	(6) 100.0	100.0	-	-
年齢別	18～25歳未満	(72) 100.0	84.7	15.3	-
	25～30歳未満	(171) 100.0	78.9	21.1	-
	30歳以上	(92) 100.0	70.7	29.3	-
	不明	(2) 100.0	50.0	50.0	-

###### ロ 訓練修了後の転職

では、修了生は、現在の仕事に就くまでに、訓練校を修了した後、再度、転職をしたことがあるかを尋ねてみると、転職の経験が「ない」が68.2%、転職の経験が「ある」が28.2%となっており、訓練校修了後、既に3割弱の者が再度職場を変えていた（表2-10）。

性別にみると、男性では、転職をしたことが「ある」が2割強を、一方、女性では3割を占めており、男性に比べて、女性の方が転職した者が多い。

なお、年齢別には、あまり大きな違いはみられない。



表2-10 訓練修了後の転職経験

単位：％（ ）は実数

区分		合計	ある	ない	不明
全体		(337) 100.0	28.2	68.2	3.6
性別	男性	(121) 100.0	23.1	71.9	5.0
	女性	(210) 100.0	30.0	67.1	2.9
	不明	(6) 100.0	66.7	33.3	-
年齢別	18～ 25歳未満	(72) 100.0	27.8	65.3	6.9
	25～ 30歳未満	(171) 100.0	28.1	69.0	2.9
	30歳以上	(92) 100.0	29.3	68.5	2.2
	不明	(2) 100.0	-	100.0	-

## ハ 修了生の職業

では、修了生はどんな職業に就いているのかをみると、「技能工・採掘・製造の職業」と「事務的職業」がそれぞれ32.8％と最も多く、次いで「専門・技術的職業」が14.9％、そして「販売の職業」が5.7％と続いている（表2-11）。

性別にみると、男性では「技能工・採掘・製造の職業」が6割強と最も多く、次いで「専門・技術的職業」が10.1％となっている。一方、女性では、「事務的職業」が55.1％、「専門・技術的職業」が18.4％となっており、男性は製造関連の仕事に、女性は事務的関連の仕事に従事している者が多い。

また、年齢別にみると、いずれの年代でも「技能工・採掘・製造の職業」と「事務的職業」がそれぞれ約3割を占めているが、30歳以上では、「専門・技術的職業」（2割強）の比率が、ほかの年代に比べて高くなっており、年齢が高くなるに従い、今まで自分が職業人生の中で培ってきた専門分野に関連する職業に就いている者が多くなっている。

## ニ 現在の仕事と訓練科

現在、働いている仕事内容と修了した訓練科との関連について尋ねてみると、「関連があった」が46.6％と最も多く、次いで「少し関連があった」が30.2％、そして「関連がなかった」が22.5％となっており、8割弱の修了生が訓練科に関連した仕事に就いている（表2-12）。

年齢別にみると、30歳以上では、「関連があった」と「少し関連があった」を合わせると8割強を占め、一方、30歳未満では、「関連がなかった」が2割以上を占めており、20歳代の修了生は、30歳以上の者に比べて、訓練科に関連した職種に就いている者がやや少ない。

なお、性別にみると、あまり大きな違いはみられない。

表2-11 仕事(職種)の内容

単位：％（ ）は実数

区分	合計	専門・ 技術的 職業	管理的 職業	事務的 職業	販売の 職業	サービ スの職 業	保安の 職業	農林漁 業の職 業	運輸通 信の職 業	技能工 ・採掘・ 製造の 職業	その他	不明	
全体	(262) 100.0	14.9	1.5	32.8	5.7	3.5	1.1	-	1.5	32.8	3.1	3.1	
性別	男性	(109) 100.0	10.1	3.7	2.8	4.6	2.8	2.8	-	3.7	63.3	2.8	3.4
	女性	(147) 100.0	18.4	-	55.1	6.8	4.1	-	-	10.2	3.4	2.0	
	不明	( 6) 100.0	16.7	-	33.3	-	-	-	-	33.3	-	16.7	
年齢別	18～ 25歳未満	( 61) 100.0	14.8	1.6	27.9	6.6	1.6	1.6	-	1.6	34.4	3.3	6.6
	25～ 30歳未満	(135) 100.0	11.9	1.5	33.3	5.9	3.7	1.5	-	2.2	35.6	1.5	2.9
	30歳以上	( 65) 100.0	21.5	1.5	36.9	4.6	4.6	-	-	26.3	4.6	-	
	不明	( 1) 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	

表2-12 仕事と受講した科との関連

単位：％（ ）は実数

区分	合計	関連があ った	少し関連 があった	関連がな かった	不明	
全体	(262) 100.0	46.6	30.2	22.5	0.7	
性別	男性	(109) 100.0	49.5	28.4	22.1	-
	女性	(147) 100.0	44.9	32.0	22.4	0.7
	不明	( 6) 100.0	33.3	16.7	33.3	16.7
年齢別	18～ 25歳未満	( 61) 100.0	45.9	31.1	23.0	-
	25～ 30歳未満	(135) 100.0	44.4	28.9	25.2	1.5
	30歳以上	( 65) 100.0	50.8	32.3	16.9	-
	不明	( 1) 100.0	100.0	-	-	-

(2) 会社の状況

イ 業種

現在、修了生が働いている会社の業種をみると、「製造業」が21.0%と最も多く、次いで「サービス業」が19.8%、そして「建設業」が13.7%、「電気・ガス・熱供給業、水道業」が6.5%、「運輸・通信業」が5.0%、「卸売・小売業」が4.2%となっており、製造業、サービス業、建設業を中心に修了生は働いている（表2-13）。

性別にみると、男性では、「製造業」（3割弱）や「サービス業」（2割強）が高率となっているのに対して、女性では、「その他」（4割弱）が高率となっており、男性は基幹業種で働いている者が多いのに対し、女性はそのほかの業種で働いている者が多いことが分かる。

次に、年齢別にみると、18～25歳未満では「サービス業」（3割強）が、一方、30歳以上では、「その他」（4割強）と「建設業」（2割）がそれぞれほかの年代に比べ高率となっており、25歳未満ではサービス業を中心に働いており、年齢が高くなるに従い、建設業やそのほかの業種で働いている者が多くなっている。

表2-13 会社の業種

単位：％（ ）は実数

区分		全体	建設業	製造業	電気・ガス熱供給業、水道業	運輸通信業	卸売・小売業	サービス業	その他	不明
全体		(262) 100.0	13.7	21.0	6.5	5.0	4.2	19.8	29.0	0.8
性別	男性	(109) 100.0	10.1	28.4	11.0	9.2	1.9	22.9	16.5	-
	女性	(147) 100.0	17.0	15.6	3.4	1.4	6.1	17.7	38.1	0.7
	不明	(6) 100.0	-	16.7	-	16.7	-	16.7	33.2	16.7
	不明	(6) 100.0	-	16.7	-	16.7	-	16.7	33.2	16.7
年齢別	18～25歳未満	(61) 100.0	8.2	23.0	3.3	8.2	4.9	31.1	21.3	-
	25～30歳未満	(135) 100.0	13.3	21.5	8.9	5.2	5.9	17.0	26.7	1.5
	30歳以上	(65) 100.0	20.0	18.5	4.6	1.5	-	15.4	40.0	-
	不明	(1) 100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	不明	(1) 100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-

ロ 会社の規模

では、修了生は、どんな規模の会社で働いているのか、企業規模をみると、「1～29人」が46.6%と最も多く、次いで「30～99人」が22.5%、そして「500人以上」が13.4%、「100～299人」が10.7%となっており、8割弱の修了生が中小企業で働いている（表2-14）。

性別にみると、男性では、「99人以下」の企業で働いている者が、女性では、「300人以下」の企業で働いている者が、それぞれ4分の3を占めており、女性が男性に比べて、企業規模の大きい会社で働いている者がやや多いことが分かる。

次に、年齢別にみると、30歳未満では、「99人以下」が7割弱を占めているのに対して、30歳以上では8割弱を占めており、年齢が高くなるほど零細企業で働いている者が多くなっている。

さらに、学歴別にみると、中学校卒では「1～29人」が、高校卒と大卒以上では「99人以下」が、短大・高専卒では「299人以下」が、それぞれ約7割を占めており、学歴によって修了生の働いている企業規模に偏りがみられる。

表2-14 会社の規模

単位：％（ ）は実数

区分	合計	1～29人	30～99人	100～299人	300～499人	500人以上	不明
全体	(262) 100.0	46.6	22.5	10.7	4.6	13.4	2.2
性別	男性 (109) 100.0	54.1	21.1	9.2	6.4	9.2	-
	女性 (147) 100.0	41.5	23.8	11.6	2.7	17.0	3.4
	不明 (6) 100.0	33.2	16.7	16.7	16.7	-	16.7
年齢別	18～25歳未満 (61) 100.0	39.3	29.5	11.5	6.6	13.1	-
	25～30歳未満 (135) 100.0	47.4	17.8	13.3	5.2	13.3	3.0
	30歳以上 (65) 100.0	50.8	26.2	4.6	1.5	13.8	3.1
	不明 (1) 100.0	100.0	-	-	-	-	-
学歴別	中学校卒 (10) 100.0	70.0	20.0	-	-	10.0	-
	高校卒 (161) 100.0	53.4	20.5	8.7	3.7	10.6	3.1
	短大・高専卒 (61) 100.0	24.6	29.5	13.1	8.2	23.0	1.6
	大卒以上 (16) 100.0	56.3	18.7	18.7	-	6.3	-
	不明 (14) 100.0	35.8	21.4	21.4	7.1	14.3	-

## ハ 会社への満足度

次に、修了生が、現在勤めている会社にとどの程度満足しているかを、仕事と賃金の2点から見てみよう。

### 1) 仕事

初めに、現在就いている仕事にとどの程度満足しているかをみると、「やや満足している」が39.7%と最も多く、次いで「満足している」が28.2%、そ

して「やや不満である」が22.9%、「不満である」が8.1%となっており、修了生の7割弱が現在の仕事に満足している（表2-15）。

学歴別にみると、大卒以上では、「満足している」が1割強を占め、ほかの学歴の者に比べて、低い比率となっており目立つ。

なお、性別、年齢別には、あまり大きな違いはみられない。

表2-15 会社の満足度(仕事)

単位：%（ ）は実数

区 分		合 計	満足して いる	やや満足	やや不満	不満であ る	不 明
全 体		(262) 100.0	28.2	39.7	22.9	8.1	1.1
性 別	男 性	(109) 100.0	25.7	42.2	22.0	9.2	0.9
	女 性	(147) 100.0	29.9	39.5	23.8	6.1	0.7
	不 明	( 6) 100.0	33.3	-	16.7	33.3	16.7
年 齢 別	18～ 25歳未満	( 61) 100.0	29.5	36.1	26.2	8.2	-
	25～ 30歳未満	(135) 100.0	25.2	42.2	20.7	9.7	2.2
	30歳以上	( 65) 100.0	33.8	36.9	24.7	4.6	-
	不 明	( 1) 100.0	-	100.0	-	-	-
学 歴 別	中学校卒	( 10) 100.0	30.0	20.0	50.0	-	-
	高校卒	(161) 100.0	26.7	41.6	23.6	7.5	0.6
	短大・高専卒	( 61) 100.0	36.1	36.1	16.4	9.8	1.6
	大卒以上	( 16) 100.0	12.5	56.3	25.0	6.2	-
	不 明	( 14) 100.0	28.6	28.6	21.4	14.3	7.1

## 2) 賃金

次に、今の仕事の働きぶりに対する賃金の満足度をみると「やや満足している」が30.9%、次いで「やや不満である」が29.4%、そして「不満である」が22.2%、「満足している」が16.0%となっており、今の賃金に不満を抱いている者が5割強もいる（表2-16）。

性別にみると、男性では、「やや不満である」と「不満である」を合わせ、賃金に何らかの不満を抱く者が5割強を、「満足している」と「やや満足している」を合わせ、賃金に何らかの満足を抱く者が4割強を占めているのに対して、女性では、それぞれ5割弱となっており、男性の方が女性に比べて、賃金に不満を抱く者がやや多いようである。

年齢別にみると、18～25歳未満では、賃金に何らかの満足を抱く者が4割

弱、不満を抱く者が6割強であるのに対して、25歳以上では、それぞれ約5割となっており、25歳未満の者は、ほかの年代に比べて、賃金に不満を抱く者が多く、より高給を望んでいると思われる。

表2-16 会社への満足度(賃金)

単位：％（ ）は実数

区分	合計	満足している	やや満足	やや不満	不満である	不明
全体	(262) 100.0	16.0	30.9	29.4	22.2	1.5
性別	男性 (109) 100.0	12.8	32.1	27.5	26.7	0.9
	女性 (147) 100.0	18.4	30.6	30.6	19.0	1.4
	不明 (6) 100.0	16.7	16.7	33.2	16.7	16.7
年齢別	18～ 25歳未満 (61) 100.0	11.5	26.2	39.3	21.3	1.7
	25～ 30歳未満 (135) 100.0	15.6	35.6	23.7	23.0	2.1
	30歳以上 (65) 100.0	21.5	26.2	32.3	20.0	-
	不明 (1) 100.0	-	-	-	100.0	-

### (3) 今後の職業生活

次に、修了生は、自分の将来の職業生活をどのように考えているのかをみると、「現在の会社で働きたい」が28.8%と最も多く、次いで「転職して他の会社で働きたい」が28.5%、そして「独立したい」が16.3%となっており、今後も今の会社で働き続けたい者と他の会社に移りたい者との比率が、それぞれ3割弱となっている(表2-17)。

性別にみると、男性では「独立したい」が3割強を占め、女性に比べて、将来、自営・独立を望む者が多い。

年齢別にみると、あまり大きな違いはみられないが、25～30歳未満では、「転職して他の会社で働きたい」がほかの年代に比べてやや高率となっており目立つ。

学歴別にみると、中学校卒と大卒以上では、「独立したい」がそれぞれ4割弱を占め、今の仕事を通して専門性を高め、将来独立を考えている者が多い。

また、中学校卒では、「転職して他の会社で働きたい」が1割弱と、ほかの学歴の者(2割～3割弱)に比べて低い比率となっており、中学校卒者の定着の意志が窺える。

表2-17 将来について

単位：％（ ）は実数

区分		合計	現在の会社で働きたい	転職して他の会社で働きたい	独立したい	その他	不明
全体		(337) 100.0	28.8	28.5	16.3	21.4	5.0
性別	男性	(121) 100.0	27.3	24.0	30.6	14.9	3.2
	女性	(210) 100.0	30.0	30.5	8.6	24.8	6.1
	不明	( 6) 100.0	16.7	50.0	-	33.3	-
年齢別	18～ 25歳未満	( 72) 100.0	31.9	23.6	18.1	20.8	5.6
	25～ 30歳未満	(171) 100.0	28.1	32.2	12.3	22.8	4.6
	30歳以上	( 92) 100.0	28.3	25.0	22.8	18.5	5.4
	不明	( 2) 100.0	-	50.0	-	50.0	-
学歴別	中学校卒	( 11) 100.0	27.3	9.1	36.3	18.2	9.1
	高校卒	(204) 100.0	25.5	28.9	15.2	25.5	4.9
	短大・高専卒	( 85) 100.0	32.9	29.4	15.3	16.5	5.9
	大卒以上	( 20) 100.0	30.0	20.0	35.0	10.0	5.0
	不明	( 17) 100.0	47.1	41.2	-	11.7	-

## 5 訓練と技能向上

最後に、訓練と技能の向上について、修了生はどのように考えているのかを、訓練校の存在、技能の探求心、技能の尊重、技能向上の場の4点から見てみよう。

### (1) 訓練校について

訓練校での技能習得を通して得た経験から、友人や後輩が離職した時、訓練校への入校をすすめたいと思っているかを尋ねてみると、「すすめたい」が50.7%と最も多く、次いで「是非すすめたい」が43.3%となっており、ほとんどの修了生が友人や後輩などに訓練校を紹介したいと思っており、訓練校での知識や技能・技術の習得、指導員や同年代の者との交流は、修了生にとって長い職業生涯の中で貴重な経験であったことが窺える(表2-18)。

なお、性別、年齢別には、あまり大きな違いはみられない。

表2-18 訓練校の友人や後輩へのすすめ

単位：% ( )は実数

区分		全体	是非すすめたい	すすめてもよい	あまりすすめたくない	すすめない	不明
全体		(337) 100.0	43.3	50.7	4.2	0.9	0.9
性別	男性	(121) 100.0	39.7	52.9	5.8	-	1.6
	女性	(210) 100.0	44.3	50.5	3.3	1.4	0.5
	不明	(6) 100.0	83.3	16.7	-	-	-
年齢別	18~	(72) 100.0	34.7	58.3	2.8	1.4	2.8
	25~	(171) 100.0	47.4	45.0	5.8	1.2	0.6
	30歳未満	(92) 100.0	41.3	56.5	2.2	-	-
	30歳以上	(2) 100.0	100.0	-	-	-	-
	不明	(2) 100.0	100.0	-	-	-	-

### (2) 技能の探求

次に、これからも自分の保有する技能を深めていきたいと思っているか、技能の探求心について見てみると、「そう思う」が76.2%と最も多く、次いで「ややそう思う」が19.0%、そして「あまり思わない」が3.0%となっており、修了生が訓練校で習得した技能を、さらに向上したいと望む者が9割以上を占めている(表2-19)。

年齢別にみると、18~25歳未満では、「そう思う」が68.1%を、25~30歳未満では74.9%を、30歳以上では84.8%を占めており、年齢が高くなるに従い、技能・技術の探求心を抱く者が多い。

なお、性別には、あまり大きな違いはみられない。



表2-19 技能の探求

単位：％（ ）は実数

区 分		合 計	そう思う	ややそう 思う	あまり思 わない	思わない	不 明
全 体		(337) 100.0	76.2	19.0	3.0	0.9	0.9
性 別	男 性	(121) 100.0	75.2	16.5	4.1	2.5	1.7
	女 性	(210) 100.0	76.7	20.5	2.4	-	0.4
	不 明	( 6) 100.0	83.3	16.7	-	-	-
年 齢 別	18～ 25歳未満	( 72) 100.0	68.1	25.0	2.8	1.4	2.7
	25～ 30歳未満	(171) 100.0	74.9	19.9	3.5	1.2	0.5
	30歳以上	( 92) 100.0	84.8	13.0	2.2	-	-
	不 明	( 2) 100.0	100.0	-	-	-	-

## (3) 技能の大切さ

これからの社会では、技能が大切になると思っているかを尋ねてみると、「そう思う」が86.1％と最も多く、次いで「ややそう思う」が11.6％、そして「あまり思わない」が1.2％となっており、ほとんどの修了生が今後も技能が重要であると思っている（表2-20）。

なお、性別、年齢別にみると、あまり大きな違いはみられない。

表2-20 技能の大切さ

単位：％（ ）は実数

区 分		合 計	そう思う	ややそう 思う	あまり思 わない	思わない	不 明
全 体		(337) 100.0	86.1	11.6	1.2	0.3	0.8
性 別	男 性	(121) 100.0	84.3	11.6	2.5	-	1.6
	女 性	(210) 100.0	86.7	11.8	0.5	0.5	0.5
	不 明	( 6) 100.0	100.0	-	-	-	-
年 齢 別	18～ 25歳未満	( 72) 100.0	83.3	12.5	1.4	-	2.8
	25～ 30歳未満	(171) 100.0	85.4	12.9	1.2	-	0.5
	30歳以上	( 92) 100.0	89.1	8.7	1.1	1.1	-
	不 明	( 2) 100.0	100.0	-	-	-	-

## (4) 今後の技能向上の場

修了生が、これから先も技能の習得・向上を目指す上で、どんなところで技能を習得するとよいと考えているかを尋ねてみると、「訓練校」が70.6％と最も多く、

次いで「専門学校」と「職場」がそれぞれ52.5%、そして「学校（短大・大学）」が22.3%、「メーカー等の研修所」が20.2%、「カルチャーセンター（公民館等）」が18.4%となっており、技能を習得する上で、設備・機器や指導者が揃っている施設を挙げる者が多い（表2-21）。

性別にみると、いずれも「訓練校」が高率となっているが、男性では「職場」（6割）や「メーカー等の研修所」（3割弱）を、一方、女性では「専門学校」（6割弱）や「カルチャーセンター（公民館等）」（2割強）を挙げる者が多く、性別によって、技能を習得する場所にやや違いがみられる。

年齢別にみると、18～25歳未満では「メーカー等の研修所」の比率が1割弱であるのに対して、25歳以上では約2割を占めており目立つ。

表2-21 社会で技能を習得する場所

単位：%（ ）は実数、複数回答

区分		合計	学校 (短大・ 大学)	専門学 校	訓練校	職 場	カルチャーセ ンター(公 民 館 等)	メ-カ-等 の研修 所	自 宅	不 明
全 体		(830) 100.0	22.3	52.5	70.6	52.5	18.4	20.2	8.3	1.5
性 別	男 性	(299) 100.0	19.8	47.1	71.9	60.3	7.4	28.1	10.7	1.7
	女 性	(513) 100.0	23.3	56.2	69.0	48.1	23.8	15.2	7.1	1.4
	不 明	( 18) 100.0	33.3	33.3	100.0	50.0	50.0	33.3	-	-
年 齢 別	18～ 25歳未満	(172) 100.0	22.2	61.1	69.4	48.6	8.3	19.4	9.7	-
	25～ 30歳未満	(425) 100.0	23.4	46.8	73.1	55.0	19.9	21.1	8.2	1.2
	30歳以上	(227) 100.0	20.7	56.5	66.3	51.1	22.8	19.6	6.5	3.3
	不 明	( 6) 100.0	-	50.0	100.0	50.0	50.0	-	50.0	-

## 6 自由記述について

前述の訓練修了生の現状調査の中で、通信欄を設けたところ、多数の貴重な意見が寄せられた。今後の公共職業能力開発施設の一層の充実と能力開発の向上に資するための集計・分析を行った。

### (1) 集計・分析の方法

多数の訓練修了生が訓練や指導に対して評価や感謝をしていることは、訓練校をよりよくするための貴重な意見であるので、できる限り「生の声」を反映することはいうまでもない。訓練修了生がどのようなニーズを持っているのか、訓練校をどのように評価しているのかを捉えるために、それぞれの自由意見の記述内容を(「意見区分一覧表」)に従って整理を行うこととした。なお、一つの通信欄に複数の内容が書かれていることが多いため、それぞれを該当する全ての区分で採用することとした。自由意見は、訓練校16施設、337人より回収され、うち記述のあったのは152人で、223件であった。

### (2) 集計結果

#### イ 全体集計

意見を大別すると、訓練校や指導員に対する「評価・感謝」の1区分と訓練校に対する「意見・要望」の7区分の合計8区分として全体の傾向をみることにした。全体の構成からみてみると「評価・感謝」が30.9%(69件)を占め最も多く、次いで「指導体制」が22.8%(51件)、「訓練内容」が18.8%(42件)となっている(表2-22)。

なお、「評価・感謝」は総括的な意見が多く、「意見・要望」は具体的に詳細に書かれているものが多い。

表2-22 区分意見件数

上段：件数 下段：%

全 体	入 校	訓 練 内 容	指 導 体 制	フ ォ ロ ー ア ッ プ	施 設 備	情 報 提 供	そ の 他 意 見	評 価 感 謝
223 件	11	42	51	7	8	12	23	69
100.0 %	4.9	18.8	22.8	3.3	3.6	5.4	10.3	30.9

#### ロ 入校

入校での小区分をみると「受講資格・定員の拡充」が8件と最も多い。具体的に

は、定員枠の拡大や一度だけの入校だけでなく、機会があれば他のコースでも入校したいと求めたり、年齢制限等による受講制限をなくして欲しいとの要望が多い。また、「受講資格の絞り込み・受講生のモラルアップ」では本当に訓練が必要な人、意欲のある人が入校すべきであるとの意見がみられた。

#### ハ 訓練内容

訓練内容での小区分をみると「訓練内容の改善」、「現場ニーズ・時流への対応」が11件、次に「科目・講座の設置」が7件となっている。訓練内容の改善では実践的な訓練で即戦力として企業で使えるようなもので、現場とのギャップを埋めることができるような訓練を求めている意見が多い。「現場ニーズ・時流への対応」では、現場でのトラブルシューティングに対応でき、職場のマルチメディア化に対応した訓練の実施を求める意見が多い。また、「科目・講座の設置」では、単に資格を取るためだけの訓練ではなく、現場で必要とされる資格を重点的に取り入れながら、内容の深い訓練を求めている声が多くなっている。

#### ニ 指導体制

指導体制での小区分をみると「訓練期間の延長」が22件、「指導員のレベルアップ・指導体制」が13件、「就職支援機能の強化」が8件となっている。「訓練期間の延長」では、短期間に多くのことを学ぶため、訓練に消化不良をきたしているものが多い。「就職支援機能の強化」では、厳しい就職環境の中で訓練校の組織的な支援の強化を求める意見が多くみられた。

#### ホ フォローアップ

修了生対応での小区分をみると「修了生への相談・情報提供機能の拡充」が4件、「修了生のフォローアップ訓練の実施」が3件となっている。「修了生への相談・情報提供機能の拡充」では、職場での技能・知識についての相談や講習会・セミナー参加などの情報提供を求めている意見が多い。「修了生のフォローアップ訓練の実施」では、さらに高度な技能・知識を習得するために広報等の強化を求めている意見がみられる。

#### ヘ 施設・設備

施設・設備での小区分をみると「施設・設備の改善」が7件、「施設・設備の開放」が1件となっている。「施設・設備の改善」では、パソコンの台数不足、ソフト等のバージョンアップ、PC機器の更新など現場とのギャップを埋めて欲しいとの意見が多い。

## ト 情報提供

情報提供での小区分をみると「訓練校のPR強化・イメージアップ」が9件、「生涯学習の対応」が3件となっている。「訓練校のPR強化・イメージアップ」では、もっと多くの人に訓練校を知って欲しい、評価して欲しいと望んでおり積極的なPR活動の実施を求めている意見が多い。

## チ 評価・感謝

評価・感謝での小区分をみると「感謝一般」が27件、「訓練内容全般への評価」が12件、「資格取得への評価」が8件、「訓練が職場で役立っている」が4件となっている。「感謝一般」では、指導員が親身になって指導してくれたことや訓練の機会を得られたことでさまざまな職業経験を持っている諸先輩方と今でも交流ができ、人生の幅ができたとの声が多い。「訓練内容全般への評価」では、基礎から丁寧に教えていただいたことや集団生活の大事さなどの生活規範に関する指導が職場で役立っているとの声が多い。「資格取得への評価」では資格を取る機会を与えてくれたことやその資格が職場で有効に活用されているとの声がある。

「訓練が職場で役立っている」では、訓練校で習得した知識や技能・技術が十分職場で活かされているとの意見が多くある。

## リ その他の意見

その他意見としては、意欲のある人が訓練を受けるべきであり入校時の選考に工夫して欲しいとの意見が伺われた。

「意見区分」一覧表

区 分	小 区 分	備 考
1. 入校	1 受講資格・定員の拡充 2 受講資格の絞り込み・受講生のモラル 3 アップ 入校時の説明改善	
2. 訓練内容	4 訓練内容の改善 5 資格取得への対応 6 実技訓練の重視 7 現場ニーズ・時流への対応 8 上級コースの設置・レベル別訓練の実施 9 訓練内容等の選択化 10 科目・講座の設置 11 科目の統廃合・見直し	「カリキュラムに沿った授業」は4.12両方へ分類
3. 指導体制	12 指導員のレベルアップ・指導体制の改善 13 14 最寄りの訓練校への学科開設等 15 訓練期間の延長 16 訓練実施日時の変更 17 専門校の事務改善 18 在校生への相談・情報提供機能の拡充 就職支援機能の強化	
4. フォロー アップ	19 修了生への相談・情報提供機能の拡充 20 修了生へのフォローアップ訓練の実施 21 修了生への実態調査の拡充 22 修了生の交流の場の設置	
5. 施設・設備	23 施設・設備の改善 24 施設・設備の開放	
6. 情報提供	25 専門校のPR強化・イメージアップ 26 就職先の労働条件の向上 27 生涯学習への対応	
7. 評価・感謝	28 訓練内容全般への評価 29 実技訓練への評価 30 知識・技術習得への評価 31 訓練が職場で役立った 32 資格取得への評価 33 指導員が親身に指導 34 指導員のレベルが高い 35 就職支援への評価 36 施設・設備への評価 37 費用面への評価 38 感謝一般	
8. その他意見	39 その他意見	

\*一つの意見が複数の区分にまたがる場合は、該当する全ての区分を採用した。

(例)「1人に1台ずつになるようCADを増やして、実技訓練を充実させて欲しい。また、できればCAD科を作って欲しい」→小区分は6、10、23に該当する。

### (3) アンケート調査の意見・感想等

#### 区分 受講生

#### 意見・感想等

##### 【入校】

- 1-1 063 訓練校に行ける人数が少ないので、もっと増やしてほしい  
1-1 102 もっと気軽に訓練校に入校できるようにしてほしい  
1-1 148 私が入校した時、電気科に入れる人員が少なかった。現在ビル管理業に就いているのですが電気関係が最も重要視されているのでもっと人員を増やしてほしい  
1-1 245 一度入校した人はもう一度別のコースを受ける事ができるのでしょうか。仕事をもっと充実させ、長く続けて行くためにもっと勉強したいと思います  
1-1 256 もっと若い人を入校させるよう努力が必要だと思います  
1-1 303 より上の資格取得にむけて、職業能力開発大学校への道がひらけるとよいと思う  
1-1 313 年齢制限をなくしてくれればよいと思います  
1-1 336 訓練科によって年齢制限があるのをなくしてほしい  
1-2 181 技術を身につけて、職業に活かしたいと思う人に場を提供できる所であってほしいと思う  
1-2 231 技術の習得面にしても自分のやる気次第で、十分に役立ち、普通の専門学校よりむしろレベルの高い学習ができると思いました。できれば、新卒者より再就職者を優先して入校させてほしいと思います

##### 【訓練内容】

- 2-4 008 もっと訓練校を増やし、コースも充実したら良いと思います  
2-4 024 学習内容はすごいとは言えなかった  
2-4 054 期間が少ないからかもしれませんがもっと充実してほしいです  
2-4 108 もっと訓練内容を広げてほしい  
2-4 117 もっと詳しく、深くやってほしい。本当に仕事につける事を学びたい  
2-4 134 短い期間で多くの資格を取得しなければならないため、一夜漬けのような勉強になってしまうことがあった。パソコンなどをもっと深く学びたかった。でも久しぶりに、学生の頃にもどったようでとても楽しかったです  
2-4 144 就職以来、勉強のみに専念できる時間というのを持たなかったため、とても有意義な時間でした。ただ半年間という限られた時間の中で、いくつもの資格をとるための授業になっていたような気がします  
2-4 161 これからの社会に役立つような職人を育てるために訓練校は頑張してほしいと思います  
2-4 191 資格取得は、大事なことだと思います。今の企業は、即実戦力となる人材を求めていますので、資格取得プラス、もっとプロフェッショナルな内容をお願いします  
2-4 198 私の訓練科には、資格に対する免除や訓練中にとれる資格がありませんでした  
2-4 269 講義の内容が「技能を身につける」ことよりも「資格を取る」ことが目的だったようで、実際の現場では「自分の技能」が全くと言ってよいほど使えるレベルではなかった気がする  
2-5 010 訓練校の訓練についてやや不満と記入したが、パソコンもワープロも基礎的なのもっと深く勉強したかった  
2-5 124 技能検定の資格取得のための短期訓練等があると思う  
2-5 170 国家試験等の取得の場合、1年はとても短く感じます。基礎知識を覚えるのがやっとなかなかむずかしいと思いました  
2-5 190 自宅でパソコンに向かう時間が増え、仕事ではワープロを打つ機会が多くなりました。授業内容に「パソコン通信」等、特に資格に結びつく授業をしてほしい  
2-5 208 資格を取り損ねたので、再チャレンジするチャンスを与えてほしい。検定の案内をしてほしい  
2-5 242 もっと深いところまで学んで資格が取りたかった。まだ少し知識が足りないため資格を取るのも二の足をふんでしまいます  
2-5 258 資格を取るまで行きたかった  
2-6 282 現在結婚して子供が生まれたので仕事はしていません。ファッション科でしたが、実習時間が少ないと思いました  
2-7 018 技能習得には良い所だと思うが、トラブルシューティング、ロールプレイング等の実生活（職場での）に即した内容や課題をどんどん取り入れてもらいたかった  
2-7 067 インターネット（E-MAIL）なども使うので、そのような講座もあるといいと思います  
2-7 082 多くの工事見学、会社見学などを行い、自分が本当にその業界でやっていけるのか早いうちに考えられるようにしてほしい  
2-7 097 「手に職をつける」だけではなく、いろいろなケースの体験談が聞くことのできる場所でもあったと感じました  
2-7 101 実践で役立つ実習の方を強化してほしいと思いました。基本は、基本として頭に入っていますが、実際仕事でやっていたかというところと全く違う方法でした。先輩方の意見を重視しなければならないのが現状です  
2-7 144 パソコンの使い方について、少しだけやりましたが、これからの事務には、それこそが最も必要だと思うのでもう少し時間をとって欲しかった  
2-7 183 良いところに就職できたが、実際の仕事には訓練校で習ったことでは不十分であった  
2-7 210 コンピュータ関連の情報なり、あるいはパソコンのソフト、ハードなどの昨今の進歩はめざましいものがあるので、現場とのギャップに苦労しました  
2-7 238 私は、パソコン科で1年間勉強させていただきました。基礎から勉強できたが、会社では、ほとんどWINDOWSなのでもっと勉強する時間がほしかった  
2-7 271 自分にどんな能力があるか悩んでいる人が多いので、相談のってほしい  
2-7 288 時代に対応したコースを多くもうけてほしい  
2-8 130 訓練校で教えてもらったことは、いくつかの学科の基礎と言う事になります。しかし、企業に就職すると、それはできて当たり前で、仕事をすると言う所まで行けないと力のなさを感じました。もう少し専門的な知識が学べたらと思うところです  
2-8 264 土、日、平日の夜中まで勉強、技術を教えること、衛星テレビ（パーフェクトTV）で勉強技術を教えること、通信教育などもっと充実させること、科目をもっと増やすこと、一般教養（英語）なども教えること、インターネットなどでも知識・技術を教えること等をしてほしい  
2-8 293 新しい技術や教育の仕方を取り入れた方がいいと思います  
2-8 054 もう一ランク上の訓練校を作るべきだと思う（就職でも実力社会なので）  
2-9 144 資格を取るだけでなく、もう一歩進めた授業にしてほしい

- 2-10 211 パソコンの分野をもう少し広げてほしいと思います  
 2-10 110 訓練は3ヶ月未満だったので、慣れる前に修了したので、もう少しいろいろな科との交流があれば良かったと思います  
 2-10 215 コースで教科を決めてしまうのではなく、ある程度関連のある教科から、自分の必要なものを選択できたらよいと思いました  
 2-10 221 私は自動車科を卒業して建設機械整備の仕事をしています。訓練校で習った事は、役立っていますが、建設機械科とか、産業機械科とかあれば色々な選択ができたのと思っています  
 2-10 229 自動車科について、実際に現場で働いている先輩を講師として、1日ぐらい講義の場を設けることが必要だと思う  
 2-10 302 一般で入校したが、自動車整備の二級課程を作ってほしい  
 2-10 329 自分の学んできた事は基礎中の基礎だが、それだけでは現在の工場では対応できない。訓練年数を延ばしてパソコン他の勉強も増やした方がよいと思う

【指導体制】

- 3-12 050 訓練校は他の学校と違い、実際の即戦力となる技能を習得できる場だと考えています  
 3-12 050 お客様と接しているような方をどんどん講師として招き、授業をしてほしい  
 3-12 078 わかりにくい説明も多々あり、不満を感じました  
 3-12 079 指導員の方には外の本当の社会を見る時間を持ってほしいと思いました  
 3-12 096 指導員の人間性によっても訓練の効果が違い、信頼できる方だと生徒のやる気も変わると思う  
 3-12 152 入校してくる生徒の殆どがゼロからスタートなので、修了までに職場で使いものになるようにしてほしい  
 3-12 155 訓練校を出れば必ず仕事につけると思っていた。勉強は一生懸命にやって、いろいろな資格を取得したが、就職の面接の時にそれがあまり役に立たなかったのはとても残念である  
 3-12 167 指導員の対応にばらつきがあると思う  
 3-12 213 すごく熱心な指導員もいるが、その逆もいる  
 3-12 233 指導員のレベルがもう少し高ければよかったと思う  
 3-12 269 教えてくれた指導員がスペシャリストでなく、あまり内容をうまく説明してもらえなかった  
 3-12 293 どんどん若い指導員を導入して下さい  
 3-12 325 担任の指導員はいい人だったのですが、話が長くてわかりにくく、他の指導員にばかり聞いていました  
 3-13 162 訓練校の通学が大変だった  
 3-14 060 訓練期間が短くて覚えきれなかったもので、訓練期間をもっと長くしてほしい  
 3-14 050 たった1年間で技能の基礎から応用までを習得させるというのは無理なので、2年程度あった方がもう少し勉強できたと思います  
 3-14 057 訓練期間が短かく内容が専門までしぼれなかったのが残念です  
 3-14 059 ワープロ2級の資格をとることができたが、その後のパソコンの操作については、ある程度までは教えていただいたものの、中途半端で終わってしまった気がする  
 3-14 081 技能習得のため半年コースでは短かすぎる。せめて1年集中して学べればよかった  
 3-14 097 訓練期間が3ヶ月と短かかったので、資格取得が思うようにいきませんでした。もう少し長ければもう1ランク上の資格もとれたのに、今でも少し残念です  
 3-14 098 私は3ヶ月の訓練生活でしたが、6ヶ月間あったらよいと思います  
 3-14 102 造園は、四季それぞれするべき事が違うので、半年は短かすぎると思うので、訓練期間をもっと長くしてほしい  
 3-14 118 介護サービス科の実習内容はとても良かったが、半年ではあわただしいので、もう少しゆとりをもった実習内容だとよいと思います  
 3-14 143 期間が短く資格取得のための勉強しかできなかった  
 3-14 147 6ヶ月という期間なので深く学べなかった教科があり残念でした  
 3-14 155 訓練校の期間がもう少し長く、もっと深く勉強できればよかった  
 3-14 164 もう少し訓練期間を長くしてほしい  
 3-14 169 もう少し時間があって、より深く指導員からいろいろと教えてほしかったと思います  
 3-14 174 私は陶磁器製造科という特殊な科で学びました。この一年という時間がとても短かく、中途半端で終わった感じがしてなりません。一年間のみという技術不足は身にしみえています  
 3-14 191 期間が少し短いのではないのでしょうか  
 3-14 233 資格を取るのを重点に置くなら1年コースが望ましい。半年コースだと3分の1も取れないと思います  
 3-14 242 訓練期間が半年間というのは少し短すぎました  
 3-14 266 訓練時間が足りないと思う。短期間では即戦力になるのは難しいと思う  
 3-14 270 O A ビジネス科でいろいろ教えていただきましたが、半年という短い期間では、技能や資格取得に関して時間が少ないと思います。もう少し、時間数を増やしてもっと多くの資格が取れるといいと思います  
 3-14 294 実習時間が足りないと思います。図面の読み方、注意点など、よく身につけていません  
 3-14 303 ホームヘルパー1級養成コースだったので、訓練時間が短かく、もの足りなさが残りました。もっと期間が長くて良かったと思う  
 3-15 068 夜間のコース等を作ってもらいたい  
 3-15 107 授業が終わると、職安も終わっているのでも、就職活動がやりにくかった。もっと、在学中に職安の人と相談できるようなシステムをつくってほしい  
 3-15 221 訓練校でも、夜、短時間でも仕事をしている人を対象に専門的知識の習得などを可能にしてほしい  
 3-15 317 ワープロ等在学中に試験、検定がうけられるような日程を考えてほしい  
 3-17 057 訓練校が身近なところにあり、とても良い経験ができました。もっと普通の人(就職している人等)にも新聞広告などで情報提供してもらえばもっとうれしいです  
 3-17 053 就職相談の時間をとってもらいたかった  
 3-17 249 訓練が修了する前に、いろいろな会社情報が訓練生の耳に入るようにしたらいいと感じました  
 3-18 070 修了する時、その後の職などもっと積極的に紹介してほしい  
 3-18 095 就職のあっせんを強化してほしい  
 3-18 100 再就職のための情報提供等をもっとしてほしい  
 3-18 101 就職の斡旋をもっとしてほしい  
 3-18 123 就職口がなく情報が少なかった  
 3-18 192 技能訓練は最適であったが、卒業後の指導がないのが残念です



- 3-18 212 就職希望の会社があっても求人が学校に来ない。、訓練校はもっと本腰を入れて各企業に本校を売りこんでほしい。私は就職して2年で会社が倒産してしまい、今は、公務員(警察官)をめざして勉強中です
- 3-18 252 私は、訓練したこと全てが今の仕事と内容があります。中には、違う方向へ行ってしまふ人もいたかと思えます
- 【フォローアップ】
- 4-19 044 修了後も仕事の上で相談や質問を気軽にできるような雰囲気であってほしい
- 4-19 111 病院の看護助手は介護福祉士の経験年数には、ならなかったが、卒業して2~3年経ってから経験年数に加えられることを知った。自分の取った資格や新しい情報を訓練校から提供してほしいと思いました
- 4-19 124 今は訓練した内容と関連のない仕事についていますが、できたら転職して、関連がある仕事につきたいと思っています。訓練校修了後の就職指導や、アドバイスをいつも受てもらえるような体制にしてほしい
- 4-19 159 新しい仕事かどのような形で受けられるのかという情報が一般的に少なかったと思う
- 4-20 058 訓練校に行けてとても良かったが、入校科に関係する仕事につきたくてもあまり指導を受けられなかった
- 4-20 208 訓練校修了後も何年間かは、バックアップしてほしい
- 4-20 252 終了した後も講習等あればうれしいです
- 【施設・設備】
- 5-23 053 訓練施設の充実期待します
- 5-23 073 良い指導員の方々に恵まれたと思いますが、もう少し設備をきちんとしてほしい
- 5-23 143 ワープロなど会社で使っているものよりバージョンが古いと思いました
- 5-23 197 訓練校の各階に身障者用の車イス(非常時などに使う)を一台づつ設置してほしい
- 5-23 215 ワープロや表計算には新しいソフトを入れてください
- 5-23 218 パソコンの事が覚えたくて入校したので、WINDOWS 95、EXCEL、WORD、プログラムならVBが書きかったです
- 5-23 236 訓練校のOA機器が古く、いざ就職した会社のパソコン等をすぐ使えなくて困りました
- 5-24 059 子供を保育所に預けながらも入校できるようなシステムになればよいと思う
- 【情報提供】
- 6-25 034 日本の伝統文化として重要である和紙についての技能を習得するための訓練校が必要であると思います
- 6-25 044 訓練校という呼び方をかえるのがよいと思います
- 6-25 123 訓練校の介護福祉科の知名度が低かったような気がします
- 6-25 153 訓練校そのものを知らない人が多いように思います。もう少し宣伝に力を入れたら良いと思う
- 6-25 171 毎年、離職者が増加しているので、訓練校が必要だと思います。これからも訓練校みたいな所を一つでも多く増やして下さい
- 6-25 179 訓練校がたくさんできて多くの人達が学べるようになれば良いと思います
- 6-25 204 もっと明るいイメージで、本当に学びたい人がもっと多く入校できると良いと思う
- 6-25 230 今後、訓練校は、もっと知名度をあげて、みなさんに知ってもらう事が大切だと思います
- 6-25 271 もっと訓練校のことをアピールした方がよい。在職中の人でも通えるように各地でやってほしい
- 6-27 336 就職するために職業訓練するのも大切な事だと思いますが、就職してみて改めて職種があわないと気づく場合もあるので、働きながらも資格がとれるようにしてほしい
- 6-27 053 社会に出てしまうと他人から何かを教えてもらう事や、考える時間がなかなか無いので訓練校は必要だと思います
- 6-27 211 これから先、高齢化社会になるので、高齢者に役立つ訓練も取り入れてほしいと思います
- 【評価・感謝】
- 7-28 001 訓練生の多くは離職者で、精神的ダメージを受けているが、球技大会や訓練はクラスが1つとなり仲間意識が生まれ精神的に楽になった。今後もこのようなイベントを大切にしてほしい
- 7-28 008 訓練校で過ごした半年間は、友達から刺激を受けあって、かけがえのない期間でした
- 7-28 010 訓練校で勉強する機会がもてた事は良かった
- 7-28 024 私が訓練校に通って1番印象に残っている事は、とてもステキな仲間に出会った事です。同じ目標を持つ人と出逢った事がうれしく半年間楽しかった。工作中、つらい時もその時の友達の事を想うと元気になれる
- 7-28 036 何も知らなかった私に染色の基礎を教えていただき、学んだ事を実践で役立てていこうと思っています
- 7-28 041 訓練校では、技能習得以外にも、いろいろな人達と人間的な交流ができて、貴重な経験を積む事ができ、とても良い思い出になっています
- 7-28 098 技能、技術の習得だけでなく、訓練校を通じて、集団生活を楽しむことも学ばせて頂きました。いろんな方にめぐり会えて、とっても良かったと思います
- 7-28 147 修了してすぐに就職できなかったし、現在も求職中で、訓練校は役立たなかったのかと考えてしまう時もありましたが、よくよく考えると、細かな部分まで学べたことが沢山あり、訓練校へ行ったことを有り難く思っています
- 7-28 153 短い間(1年間)でしたが、充実していて、資格も取得できる事がとてもよかった
- 7-28 156 短期課程でしたが、短期の割には、充実したカリキュラムだったと思います
- 7-28 241 私の場合、先生と一緒に学んだ人たちに恵まれ、とても楽しく勉強することができました
- 7-28 265 社会人になってから初めて本当に自分に必要な技術に出会いました
- 7-29 286 1年間という短い期間に実技、学科など盛り沢山だった。広く浅くという感じで、通っていた時は、目的である実技をもっとしっかりやりたかった
- 7-30 062 私はOA科で、パソコンなど基礎からみっちり勉強する時間がとれたので、とても充実した期間でした
- 7-30 074 1年間の訓練の中でたくさんの資格を取得することができたということは、指導員の方のおかげであると思っています。そしてさらに分野を広げた資格になるまで挑戦させて頂き感謝の念でいっぱいです。現在の職場で活かすことができています。職場では、すべての事において充実しています
- 7-30 084 短期間で多くの知識、技術を学ぶことができました。目的を持った訓練生が多く、自分自身を高める事になり、本当に充実した半年でした
- 7-30 179 1年間という長い期間の中で、今まで私が知らなかった、できなかったパソコン・ワープロ、その他事務に関連するいろいろな事を学習できました
- 7-30 205 訓練校で習得した技術は他の専門学校やカルチャーセンターなどとは違い、技術が社会に通用するよう指導していただけたので就職してもきっと大丈夫だろうという自信がわきました。いつかきっとこの技術を生かしたいと思っています
- 7-30 247 今の仕事につけたのは訓練校に行ったからです。会社では、ずっと勉強しながら仕事しています

- 7-31 067 とても遠かったので通うのは大変でしたが、どうしても覚えて身につけたかったので、就職活動以外休まず通いました。そのおかげで今の職場では、パソコン作業をスムーズにすることが出来、大変感謝しております。OA事務コースでしたので一太郎、EXCELの作業がほとんどです。職場ではアクセスを使える人がほとんどいないのですが、私は学んできたので使うことができ、とても役に立っています
- 7-31 169 私は、建築設計科に行っていました。内容はとても、すばらしくすごく現在の仕事で役だっています
- 7-31 238 訓練校でマスターしたワープロが役に立ち、仕事につく事ができました
- 7-31 245 勉強したことが今の仕事に役立っています
- 7-31 263 パソコンを習ったことが会社で役立っています。ブラインドタッチができるようになったので時間もかからず助かっています
- 7-32 078 訓練校での資格取得の勉強は、大変ハードでつらいものがありました。でも短期間集中しながら資格がとれたことは結果としてうれしいものがあり、やればできる可能性という面で認識することができました。それに一緒に学ぶ友人にも出会い、今でも付き合いがあり楽しみのひとつです
- 7-32 129 半年間の間に集中していろいろな資格をとる事ができました
- 7-32 182 資格が取得できてとても感謝しております
- 7-32 190 資格は沢山とらせて頂いて感謝しています。これからも頑張ります
- 7-32 223 とても良い経験をさせていただき、機会があれば、もう一度同じ科で違う資格や1つ上の級を取得したいと思います
- 7-32 228 先輩からの進めもあり一年間をすごしましたが、色々な面ですごくプラスになりました。いくつもの資格取得ができ再就職には、思った以上に企業側より評価されたと思います。即戦力となり期待されています
- 7-32 233 資格がたくさん取れてよかった
- 7-32 251 訓練校で半年間お世話になり、2つの資格に合格できました
- 7-33 009 高校を卒業してから、訓練校に通いました。姉も訓練校に通っていたこともあり、入校する前から訓練校の良さなどを知っていました。でも実際入校して訓練校の丁寧な指導に感動しました。今まで勉強で充実した生活を送ってこなかったのが訓練校での1年間は本当に楽しかったです
- 7-33 168 指導員の方々はよく相談にのってくれた
- 7-33 247 私達のクラスは仲もよく、みんなで資格習得のため、教えあい担任ではない指導員が真剣になって教えてくれました
- 7-33 261 訓練校では短い期間でしたが指導員の方々の熱心な指導には、本当に感謝しています
- 7-35 123 私は運が良く訓練校から就職先を紹介して頂き感謝しています
- 7-35 251 訓練校にきた求人で就職も決まり、本当にありがとうございました
- 7-37 090 金銭的負担が軽くて勉強ができ、とても良い訓練校だと思いました
- 7-37 230 私は、自動車整備科でしたが、資格をとる費用がかからないのがとてもよいと思いました。その後、大手ディーラーに就職できました
- 7-37 233 学費が無料なので助かりました
- 7-38 055 訓練校では自由なのびのびと勉強することができてとても満足しています。また、年代の違う新しい友人もでき今でもお付き合いがあり、とても良い経験ができたと思っています。6ヶ月間という短い期間でしたが、仕事をしながら習い事に行っても、身につくことができなかつた事ができるようになりとてもよかったと思っています
- 7-38 065 就職もでき、友人とも楽しく学べることができ、感謝しています
- 7-38 070 営業という仕事についていたので、事務職に興味がありコンピュータなどについて知りたいと訓練校へ入りました。入ってみると、訓練の内容の他にも、普段なら接する事のない地域の人や、年齢の人達と6ヶ月過ごせた事がとても有意義でした
- 7-38 085 施設、設備がゆき届き、訓練しやすい環境で満足しています。また指導員の方がプライベートや価値感、考え方などを本音で語っていただいたり年賀状を送って下さったのには感動しました。年齢的にも社会人でありながら学ぶということは、新鮮でした
- 7-38 094 今の時代に、中卒で30歳過ぎた私が訓練校で学ぶ事ができて新しい人生を歩かせてくれ、また専門の指導員の方々から沢山の事を教えて頂き、老人の心理、障害者の気持ち等人のいたみを教えて頂きました。チャンスを与えてくれた訓練校に感謝しています。何歳になってもやりなおせる事を知りました。これからも同じような人にチャンスをあたえて下さい
- 7-38 101 専門の指導員の方々の話が聞けて大変良かったです
- 7-38 122 訓練校が修了し、早いもので3年になろうとしています。前向きな力を与えて下さり、皆様にとっても感謝しています
- 7-38 126 学生の頃よりもよく勉強して、年上、年下の人達と一緒に学べる楽しさと指導員の方々の熱心で、たった3ヶ月でありましたがとてもたくさん勉強しました。これからの仕事や人生にきっと役立つ事と思います
- 7-38 136 私は情報ビジネス科を受講しましたが、建築科もありました。今は建築も習ってみたいと思っています。でも、1度受講したのもう入校できないのが残念です
- 7-38 140 いろいろな年代の人達と交流することができたのでとてもよかった
- 7-38 150 訓練校は、20歳から65歳位までの人たちが集まり、勉強し、語る、そして友の輪ができる。人々の道は違うけれど、きずなは堅くむすばれている。訓練校はすばらしいところです
- 7-38 182 私は訓練校で学べたことをとても良かったと思います
- 7-38 186 訓練校は役立つ内容が多く、指導も分かりやすくとても良かったです。友達もたくさんできて楽しい時間をすごせました
- 7-38 213 今は、感謝の気持ちが大きいです
- 7-38 218 色々な人(老若男女)と会うことができ、とても充実した6ヶ月だったと思っています
- 7-38 233 有意義な1年を過ごせました
- 7-38 239 幅広い年代の人達と一緒に勉強できたことはとてもよい思い出です
- 7-38 242 半年間ものすごく充実していて、楽しかったです
- 7-38 250 とてもいい先生にめぐまれ楽しかったです
- 7-38 251 訓練校で知り合った友人・指導員の方々は今でも大切におつき合いさせていただいています。私にとってはとても充実した半年間でした
- 7-38 260 幅広い友人ができて、いろんな情報交換ができてとても勉強になりました。訓練校に入校して良かったと思います。知人からも訓練校についてよく質問されますが、私は是非行くといいよとすすめています
- 7-38 262 訓練校は、とても素晴らしいところでした。いろいろな職種の方々と交流でき、さまざまな情報が得られて感謝しています

- 7-38 284 訓練校の指導員と先徒の交流がとても多い学校でした。これは、とても大切なことだと思うのでこれからも続けてほしいです
- 7-38 287 今の自分があるのは、訓練校で学んだ土台があるからだと思っています。これからも専門学校や短大、大学では学ぶことのできない訓練校の良さを生かしていただきたいと思います
- 7-38 296 今思うと本当に楽しく授業をしていたと感じます。訓練校はそういう所でよいと思います
- 7-38 303 同じ年代の人だけでなく、さまざまな人たちと学べとてもいい経験になった
- 7-38 312 私達の時代の者にとって、訓練校の教科書はすばらしいと思います
- 7-38 325 全ての方にお世話になり、大変感謝しています

【その他意見】

- 8-39 055 一度訓練校を修了しても、また訓練校に入校できる機会をつくってほしい
- 8-39 058 せっかく資格をとっても、役に立たせることが出来なくて残念です
- 8-39 079 学習内容には少し不満がありますが、いろんな経歴の人に会えて、ある意味で勉強になりました
- 8-39 092 私たちは就職するために訓練校へ入校したが、行政本位な組織を改善してほしい
- 8-39 107 規則がきびしいが、もっと自主性にまかせた方が良かった
- 8-39 146 いろいろな年齢の方と一緒に勉強できてとても楽しかったです
- 8-39 159 訓練校での訓練は、とても自分自身のためになっているが、修了後の就職先がなく、今は、訓練したことと関連のない仕事についたため、残念に思っている
- 8-39 201 よい環境だったので、もう少しまじめに訓練に取り組むべきだったと思います
- 8-39 206 訓練校にどうこう言う事はない。自分が通っていたころにもっと真面目にやっておけば良かったと思う。結局自分のやる気次第だと実感した
- 8-39 218 就職したがソロバンや簿記も使わないので、あまり今の仕事に役立っていない
- 8-39 231 私は高校卒業後、上京して建築業に就職したが、職業の不一致と町の環境が合わずもう一度学校に行こうと思った。でも自分は年齢的にも、親に頼るわけにもいかないし、少しローンもあったので金銭的な事で迷っていた。そんな時に訓練校の事を知り、是非入校したいと思った
- 8-39 239 訓練校においても本人の意欲が一番大切だと思いました
- 8-39 242 日々の職務を続けるだけでなく企業がもっと、個人々の従業員に技能をつける機会を与えてくれればと思います
- 8-39 251 学校を卒業以来10年程勉強というものから遠ざかっていましたが、改めて自分のために勉強できることのありがたみがわかりました
- 8-39 256 入校することは人間関係を増やすチャンスだと思う。最初はやっていけるのか心配でしたが、自分が若いということで、とてもよくしていただきました。60才の方となかなか話す機会はないので、とても勉強になりました。今でも会っています
- 8-39 261 半年間とはいえ、訓練校で勉強をしたことが就職先では、出来て当たり前という目で見られました。学ぶことは、基礎的なことだけですが、それでも、学んだことは、どのように生かされて行くのか、自分なりにめざす就職先のことをもっと知る必要がありました
- 8-39 269 将来について真面目に考えている、いろいろな年代の人と知り合えたことはとても有意義だった
- 8-39 314 訓練修了後すぐに子供ができたので、一段落したら是非訓練を受けた職種につきたいと思っています
- 8-39 316 特に、ありませんが訓練校がなくなるようなことはないことを願います
- 8-39 325 主婦の方で熱心に取り組む人がいました

## 7 小活

以上の分析をまとめると、次のようになる。

- ① 回答のあった修了生の性別の割合は、女性が5、男性が3の割合となっており、若年者層が7割を占め、20歳代後半の者が半数を占めていた。

また、中等教育修了者が6割を、高等教育修了者が3割強を占め、卒業後、数年間会社に勤めていた者が多い。

- ② 入校前の仕事は、主に「事務的職業」や「技能工・採掘・製造の職業」、「販売の職業」（合わせて6割）に就いており、入校前に既に6割弱の者が転職の経験を持ち、男性に比べて女性の方が、また、年齢が高い者ほど、転職の経験がある者が多かった。

- ③ 入校の動機をみると、主に「専門の知識や技能・技術等が習得できるから」（7割弱）や「将来の職業生活にとって役立つから」（6割弱）、「資格が取得できるから」（5割強）が挙げられており、専門技能・技術を習得することにより、将来の職業生活を築き上げたいと思って入校してきた者が多かった。

しかし、前職に全く関連のない訓練科を希望し、入校してきた者が6割弱もいた。

- ④ 9割弱の修了生が今の訓練にほぼ満足しており、男女とも「指導員の数」、「施設・設備」、「教材」、「基礎的な訓練」、「専門的な訓練」には満足している者（いずれも7割以上）が多いが、「訓練期間」、「就職後の進路や就職指導」に不満な者（いずれも3割以上）がやや多かった。

また、指導員との交流については、「積極的に交流ができる」とよいとする者が7割弱もあり、訓練期間中、指導員との交流の場を望む者が多かった。

なお、就職指導では、「先輩の体験談や意見交換」、「職場の人間関係」、「会社訪問」（3割強～5割強）などが積極的に行われなかったようである。

- ⑤ 訓練を受けて、どんな点が今の仕事に活かされているかをみると、約8割強の者が「学科」、「実技」、「規律・責任感」、「協調性」をそれぞれ挙げている。

さらに、今後強化して欲しい訓練内容をみると、「専門知識」、「資格取得」、「パソコン、ワープロの操作」（3割強～4割強）などを挙げる者が多く、学科・実技内容の強化を望む者が多かった。

- ⑥ 修了生の8割弱が就労しており、うち、男性では9割強の者が、女性では7割の者が就労しており、製造業、サービス業、建設業を中心、中小企業に勤めている者（8

割)が多かった。なお、既に他の会社に転職した者は3割弱もいた。

⑦ 修了生の職業をみると、8割弱の訓練生が訓練科に関連した仕事に就いており、「技能工・採掘・製造の職業」や「事務的職業」に就いている者（いずれも3割強）が多く、年齢が高くなるに従い、今まで自分が職業人生の中で培ってきた専門分野に関連する職業についている者が多かった。

⑧ 現在働いている会社への満足度をみると、7割の修了生が今の仕事に満足しているものの、5割の者が賃金に不満を抱いていた。

⑨ 自分の将来の職業生活をどのように考えているかをみると、今後も今の会社で働きたい者と他の会社に移りたい者との比が同比（3割強）となっており、将来「独立したい」と考える者が、男性では3割強を、中学高卒や大卒以上では4割弱を占め、今の仕事を通して専門性を高め、将来独立したいと考える者が多かった。

⑩ 訓練校での知識や技能・技術の習得、指導員や同年代の者との交流は修了生にとって長い職業生活の中で貴重な経験であったことが窺え、習得した技能・技術をさらに向上させたいと望む者が9割以上もいた。ほとんどの修了生が今後も技能が重要であると考えており、「訓練校」、「専門学校」、「職場」（5割強～7割強）など、技能を習得する上で設備・機器や指導員が整った施設で、さらに技能の向上を目指している。